

平成26年10月16日

平成26年度「初等中等教育におけるGIS を活用した授業に係る優良事例表彰」の  
選定結果について

地理情報システム学会では、昨年度同様に、初等中等教育現場においてGIS（地理情報システム）を実践的に活用した授業の普及・展開の契機とするため、授業において先導的な取り組みを実践している教員を対象とする表彰制度を創設し、事例を募集いたしました。

（7月15日にHPに掲載告知、募集期間7月14日から9月8日 主催：地理情報システム学会、共催：毎日新聞社、後援：国土交通省国土政策局、日本地理学会、人文地理学会、日本地図学会、日本地図センター、副賞提供：日本地図センター、協賛：ESRIジャパン株式会社）

その結果、4件の応募があり、10月7日に地理情報システム学会、毎日新聞社、国土交通省、文部科学省から構成する審査委員会を開催し、表彰事例を選定しましたので、以下の通りに連絡いたします。

- ・国土交通大臣賞（総合的な観点）  
岡山県立備前緑陽高等学校 森 泰三 殿
- ・地理情報システム学会賞（GIS の効果的な活用の観点）  
該当者無
- ・毎日新聞社賞（教育上の効果の観点）  
坂井市役所企画情報課 北岡 武 殿

なお、選定された受賞者には、平成26年11月7日（金）～8日（土）に中部大学（名古屋）で開催される第23回研究発表大会（<http://www.gisa-japan.org/conferences/index.html>）に於いて開催される特別セッション(1)「学校教育における地理教育の見通しとGIS教材」（詳しくは上記ホームページをご覧ください）において表彰式を執り行うとともに、事例発表をして頂く予定です。